

1. めざす学校像

<p>四天王寺の創建者聖徳太子の仏教精神に基づき、全人教育による、教養と豊かな宗教的情操を備え、調和のとれた将来有為な人物を育成する高等普通教育を行なうことを目的とする。</p> <p>目標 1. 豊かな情操を備えた人間の育成。 2. 学習意欲の高揚と学力の向上。 3. 夢・希望を叶える進路指導。 4. 基本的生活習慣の確立。 5. ルールの順守と規範意識の高揚。</p>

2. 中期的目標

<p>1. 夢・希望を叶える進路指導。 (1) 学力補充や学力伸展のための補習を適切に計画・実施する。 (2) 公開授業や研究授業など指導の内容・方法の工夫改善に向けた取組を、学校全体で行う。</p> <p>2. 基本的生活習慣の確立。 (1) 遅刻・欠席を少なくさせる。 (2) 挨拶を励行させる。</p> <p>3. ルールの順守と規範意識の高揚。 (1) 公共のルールマナーを順守させる。 (2) 服装、頭髪を規定どおり守らせる。</p>
--

【自己評価アンケートの結果と分析・学校関係者評価委員会からの意見】

*自己評価アンケートの結果と分析 (平成27年12月実施)													
結果		パーセント (資料①②参照)				高校				中学			
番号	設 問	A	B	C	D	A	B	C	D	番号			
目標1	1	校外活動(修学旅行・校外学習・スキー実習等)が適切に計画・実施されている	70	30	0	0	82	18	0	0	1		
	2	生徒会活動が活発に行われている	55	45	0	0	36	55	9	0	2		
	3	部活動が活発に行われている	18	61	21	0	18	70	12	0	3		
	4	人権教育が適切に計画・実施されている	61	39	0	0	67	33	0	0	4		
	5	いじめに対する基本方針に沿い、その取り組みが適切に実施されている	70	30	0	0	70	30	0	0	5		
	6	仏教教育・仏教行事が適切に計画・実施されている	73	27	0	0	70	30	0	0	6		
目標2	7	教育課程は学習指導要領に沿い、かつ生徒や学校の実態等を踏まえたものになっている	55	45	0	0	58	42	0	0	7		
	8	効果的で円滑な学習活動を進めるために適切な時間割を編成している	55	42	3	0	64	36	0	0	8		
	9	年間を通じた教育計画を各教科別に立てている	52	48	0	0	52	48	0	0	9		
	10	学習指導において、生徒の実態に合わせた指導方法の工夫改善を行っている	30	70	0	0	33	67	0	0	10		
	11	公開授業や研究授業など指導の内容・方法の工夫改善に向けた取り組みが、学校全体で行われている	52	45	3	0	48	48	3	0	11		
	12	教科内で、授業内容の改善・向上に向けた話し合いを積極的に行っている	42	52	6	0	36	58	6	0	12		
	13	学習不十分な生徒について学校全体で支援する体制が整っている	18	73	9	0	27	73	0	0	13		
	14	学習習慣の確立と家庭学習時間の確保に向けた取り組みを行っている	18	61	21	0	30	64	6	0	14		
	15	クラス編成や講習など進路実現に向けた学力向上策が充実している	36	64	0	0	45	55	0	0	15		
目標3	16	生徒の進路決定に向けてアドバイスを適切に行うなど、生徒の適性や希望を生かすように行われている	70	24	6	0	64	36	0	0	16		
	17	進路説明会は、適切に計画・実施されている	79	21	0	0	76	24	0	0	17		
	18	学力補充や学力伸展のための補習が適切に計画・実施されている	55	42	3	0	48	52	0	0	18		
	19	実力考査・外部模試等を進路指導に適切に活用している	58	39	3	0	42	58	0	0	19		
目標4	20	遅刻・欠席を少なくさせている	42	36	21	0	76	24	0	0	20		
	21	挨拶を励行させている	30	61	9	0	48	42	9	0	21		
	22	環境美化に対する意識の向上を図っている	24	67	9	0	39	55	6	0	22		
	23	清掃活動の参加意欲の向上を図っている	24	70	6	0	42	55	3	0	23		
	24	保健室を適切に活用させている	45	55	0	0	52	48	0	0	24		
	25	年間を通して生徒自らに健康観察や健康の保持増進できる能力を養わせている	24	70	6	0	27	70	3	0	25		
目標5	26	校内外の指導等、問題行動を未然に防ぐ教育を適切に行っている	52	45	3	0	61	39	0	0	26		
	27	公共のルールマナーを順守させている	33	61	6	0	39	61	0	0	27		
	28	服装、頭髪を規定どおり守らせている	18	70	12	0	58	39	0	3	28		
	29	交通安全教育は適切に計画・実施されている	39	58	3	0	52	45	3	0	29		
学校運営	30	職員会議をはじめ各種会議が有効かつ効率的に機能している	36	64	0	0	33	67	0	0	30		
	31	教員間・教科間の相互理解がなされ、信頼関係に基づいて教育活動が行われている	24	70	3	3	24	73	0	3	31		
	32	教員間で授業内容を評価、意見交換などを行う機会がある	45	55	0	0	42	58	0	0	32		
	33	学校ホームページで可能な範囲の情報公開をしている	45	55	0	0	48	52	0	0	33		
	34	研修・研究に参加した成果を、他の教員に伝えて情報を共有する体制がある	36	64	0	0	39	61	0	0	34		
	35	教員が計画的に校外研修を受ける体制が整っている	42	58	0	0	39	61	0	0	35		
	36	防災に対する意識の高揚を図っている	30	67	3	0	39	58	3	0	36		
	37	情報の発信(保護者対象入試説明会等)が適切に計画・実施されている	55	45	0	0					37		
	38	情報の発信(ホームページ)が適切に計画・実施されている	55	45	0	0					38		
	39	職員の生徒募集の意識高揚が図られている	39	58	3	0					39		

分析				
1 A評価とB評価による分析（肯定評価）（資料③参照） A評価とB評価のパーセントの合計は、高中共に平均で95%以上であり、昨年度よりも肯定評価が増加している。中学では項目3を除き、すべて90%以上であるが、高校の方では、項目3、14、20が80%未満となっている。その一方、項目12、13、27、28は大きく改善されている。				
2 ポイント（100点方式）による分析（A評価からD評価までの割合を100点で表したもの）（資料④参照） 80点未満をあげてみると、高校では項目13、20、21、22、23、25、28、31であり、中学では項目2、3、14、31である。70点未満は、高校では項目3、14であり、中学にはすべて70点以上である。全体の平均を見ると、過去の年度よりも今年度は一番よくなっている。				
3 過去の年度との比較 (1) A評価とB評価（資料⑤参照） 過去の年度と比較すると平均では今年度が上回っている。去年度と比較では、プラス、マイナス5%で挙げてみると、高校では項目2、10、12、13、27、28がよくなり、14、16、20、25が悪くなった。中学では、項目3、6、13、27、28がよくなり、悪くなった項目はない。 (2) ポイント（100点方式）（資料⑥参照） 去年度と比較すると、プラス、マイナス5ポイントで挙げてみると、高校では項目2、12、13、27、28がよくなり、中学では項目3、13、27、28がよくなった。高中共に5ポイントを越えて悪くなった項目はない。 (3) まとめ（資料⑦参照） 上記の資料③～⑥を1枚にまとめ表にした。				
4 設問ごとの分析と具体的な改善方法				
	番号	分析	具体的な改善方法	番号
目標1	1	適切な計画・実施ができています。	バス代の高騰など経費の問題があるが、低予算でも充実した校外学習ができるよう取り組みたい。	1
	2	非常に良いと思われる。高校は生徒会活動が活発に行われているといえる。中学は10月以降、活動が無かったため、評価が低くなったと思われる。	今年度のように、生徒会の生徒中心で運営していくことが望ましい。昨年度より新たに組み込んだことも含め、継続し向上させる。生徒会から出てきた案をよりよいものにして、それを実現できればと思われる。	2
	3	中・高共に活動できる範囲で動いている。今後も部員数は減少するだろう。	クラブ数を減らすことや一年生の間は部活動に積極的に参加するように促す必要がある。	3
	4	適切に計画・実施されている。	既存の教育計画とともに世の中の新しい情報にも目を向け、適切に指導計画を立てる。	4
	5	適切に計画・実施されている。	1年に2回のいじめアンケートに加え、いじめ事象が起こった時に適切に対応する流れを、職員全員が把握し、迅速に対応できるようにする。	5
	6	適切に計画・実施されている。	社会の状況や生徒の実情、本校の状況など考慮し、仏教教育・仏教行事が適切に計画・実施できるよう努力を重ねる。	6
目標2	7	「教育課程」については、概ね「学習指導要領」に沿った生徒の実態等を踏まえたものという評価がなされている。	教育課程そのものの変更の予定はないが、それに則った「授業」の中身の充実をさらに目指していくべきだと考える。	7
	8	「時間割」については、改善され、概ねABなので、特に問題はないという評価がなされている。	非常勤講師等の条件が緩和され改善が見られるので、今後もミスに注意し、生徒中心の時間割を心がけるべきであると考えている。	8
	9	各教科別の「年間の教育計画」は概ね高評価で、適切に計画されているという評価がなされている。	新学習指導要領に基づいた「年間計画」を各教科でさらに検討し、学習内容の定着を図る必要がある。	9
	10	「指導方法の工夫改善」については、概ね問題はないという評価がなされている。	指導方法の工夫・改善について、教科内で生徒の実態に合わせたより効果的、効率的な指導方法を考えていくべきである。	10
	11	「公開授業」や「研究授業」については、特に問題はないと思われる。	「公開授業・研究授業」について、教科内の話し合いを深め、さらに充実を図る必要があると考える。	11
	12	中・高ともにA+Bが昨年の80%後半から90%を超える値になり、大きく改善され達成されていると考えられる。	目標達成がほぼできているので、教科担当同士の綿密な打ち合わせ、また教科会の活用の継続が必要である。	12
	13	高校でA+Bが90.9%で昨年より6.7%増加、中学は100%で昨年より5.3%増加し、大きく改善されほぼ達成できていると考える。	具体的な方針（週1回確認テスト、週末課題等）が学校全体に浸透し、成果が上がったと考える。しかし、I類の生徒への取り組みとII・III類の取り組みの違いを引き続き議論の必要性はある。	13
	14	中学はA+Bが93.9%でほぼ達成できていると考える。高校でA+Bが78.8で昨年より13.3%減少し、徹底できていない。	教科によって指示内容は異なるが、予習・復習をしなければいけないような授業の組み立てを考える必要がある。また、小テストも形だけでなく、家でしっかりと学習しなければ合格できないものにし、不合格の生徒を粘り強く指導することが大切である。さらに、担任は各生徒の学習時間、その内容、及び教科バランスを定期的にアンケート、面談等で確認し、模試結果とも照らし合わせて指導を入れていく必要がある。	14
	15	中・高校ともにA+Bが100%で達成できていると考える。	目標を達成できているので、次の学年への引き継ぎを確実にすることが重要である。	15
目標3	16	中学はA+Bが100%、高校はA+Bが93.9%で昨年よりやや減少しているが概ね達成できていると考える。	提案型の進路指導、生徒面談を継続していくことが重要である。	16
	17	中・高校ともA+Bが100%で達成できていると考える。	このままで特に問題はないと考えられる。	17
	18	中学はA+Bが100%。高校もA+Bが97%で達成できていると考える。	各教員が生徒の将来を考えて補習に取り組んでいる。生徒の夢と希望を叶えるために、今後も教員が一丸となって取り組んでいかねばならない。	18
	19	中学はA+Bが100%。高校もA+Bが97%で達成できていると考える。	実力考査、模試後の指導が重要である。また懇談での活用も重要である。今年度は達成できているので、次の学年への引き継ぎを確実にすることが重要である。	19

目標4	20	概ね良好になりつつある。	朝学などで早朝登校を各学年実施しているため、遅刻・欠席が少なくなってきたと思われる。しかし、残念ながら遅刻する生徒も少なからずいるので、生徒とよく話し粘り強く指導し、家庭との連携を図る必要がある。	20
	21	適切に指導が行われている。高校では励行できていると思う。	教職員が積極的に挨拶をする。クラスでの朝終礼時に、継続的に呼びかけることも大切であり、教職員(大人)が生徒に範を示す必要がある。	21
	22	平成27年度はA+B評価90.9%であるが、平成28年度の97.9%に比べると大幅にポイントダウンしている。	トイレや廊下にポスターなどを美化委員が作成し貼る。生徒の環境美化意識を高める工夫をする。	22
	23	例年とほぼ変化なし。特に問題ないと思われる。	このまま継続した努力を怠らずに続けることが大切である。	23
	24	緊急時に対する処置や事後の観察、連絡に関して、必要に応じて適切に行われており、個々への健康指導もなされており、保健室の機能が活用されている。	生徒個々の健康状態や生活リズムなど、細かく把握して、適切な健康指導を都度行っていくこと。学校における危険箇所を把握し、常に注意を払って事故、怪我を未然に防止する。	24
	25	定期的に健康に関する情報を提供するなど、啓蒙活動は行われているが、生徒自身の健康増進の意識を高めるには少し物足りないのではないか。	専門委員会活動を通じて、生徒一人ひとりが自らの健康について興味を抱き、いかにして健康的な生活を送ることができるかを考えさせる機会を可能な限り作る。	25
目標5	26	適切に行われつつあり、年々評価も向上している。	今後も様々な場面で、予防教育をしていきたい。継続して、粘り強く指導する姿勢が肝要。生徒指導係より職員朝礼等で、教職員の予防意識を高めるべく周知することは継続していくべきだと考える。	26
	27	適切な指導が行われているといえる。	更に生徒一人ひとりが理解できるよう継続して指導する。今後も職員朝礼等で生徒指導係からの指導の周知・徹底をはかることが望ましい。	27
	28	概ね守らせているが、高校生の服装・頭髪規定の順守が不十分であるとの意見も少なからずある。	規定を守らない生徒に対しては、その意義や意味についてももしっかり伝える必要がある。生徒指導係のみならず、学年の教員が一つになって生徒の指導に取り組む。	28
	29	適切に計画・実施されている。生徒の交通安全に対する規範意識も高まりつつある。	ロングホームルームなどを利用して交通安全教育のビデオなどを見せる。自転車通学者が増えているので、全学年対象で毎年1回は交通安全教育を実施し、交通事故は加害者も被害者も大きなリスクを背負うことを理解させる。	29
学校運営	30	概ね効率的に機能している。	職員会議をはじめ各種会議から得られた内容を吟味し、日々の教育に反映させるべく創意と工夫が必要。	30
	31	概ね信頼関係に基づいて教育活動が行われているが、改善の余地もある。	ほんとうに生徒のためになるのは何なのか。真剣な議論が必要。	31
	32	概ね達成できている。	教科の枠を超えた相互の授業参観回数を増やす、あるいは、公開授業の反省をきっちりやり、問題点を明らかにし、指導スキルの向上に努める。	32
	33	自己評価アンケート及び卒業生の学校評価アンケートは、年度によって、評価が上下しているが、全般的には良好な状態を保っている。各学年、行事ごとにホームページに写真などをアップしていることが、高評価につながっていると思われる。	更なる高評価を得るためには、各学年の行事ごとのホームページへのアップを、できるだけ速やかに行うことが大切である。写真の掲載のみならず、コメントを挿入するなどの工夫で対応する。	33
	34	概ね整いつつある。	各自研修で得た情報を発信する機会を増やす。会議を増やすだけでなく、資料回覧時に要点をまとめるなどの工夫を重ねれば個々の教員の理解も深まる。	34
	35	研修の機会は増え、その体制は整いつつある。	研修内容を関係部署で共有し、教科指導や生徒指導に反映させる工夫が大切。	35
	36	良い評価が出ているが、実際避難をしている生徒の様子を見ればいささか疑問を感じる。	避難訓練をきちんと受けていないと、いざという時に統制の取れた行動が出来ず、最悪の事態を招く可能性が高いことを意識させ訓練を行わせた。	36

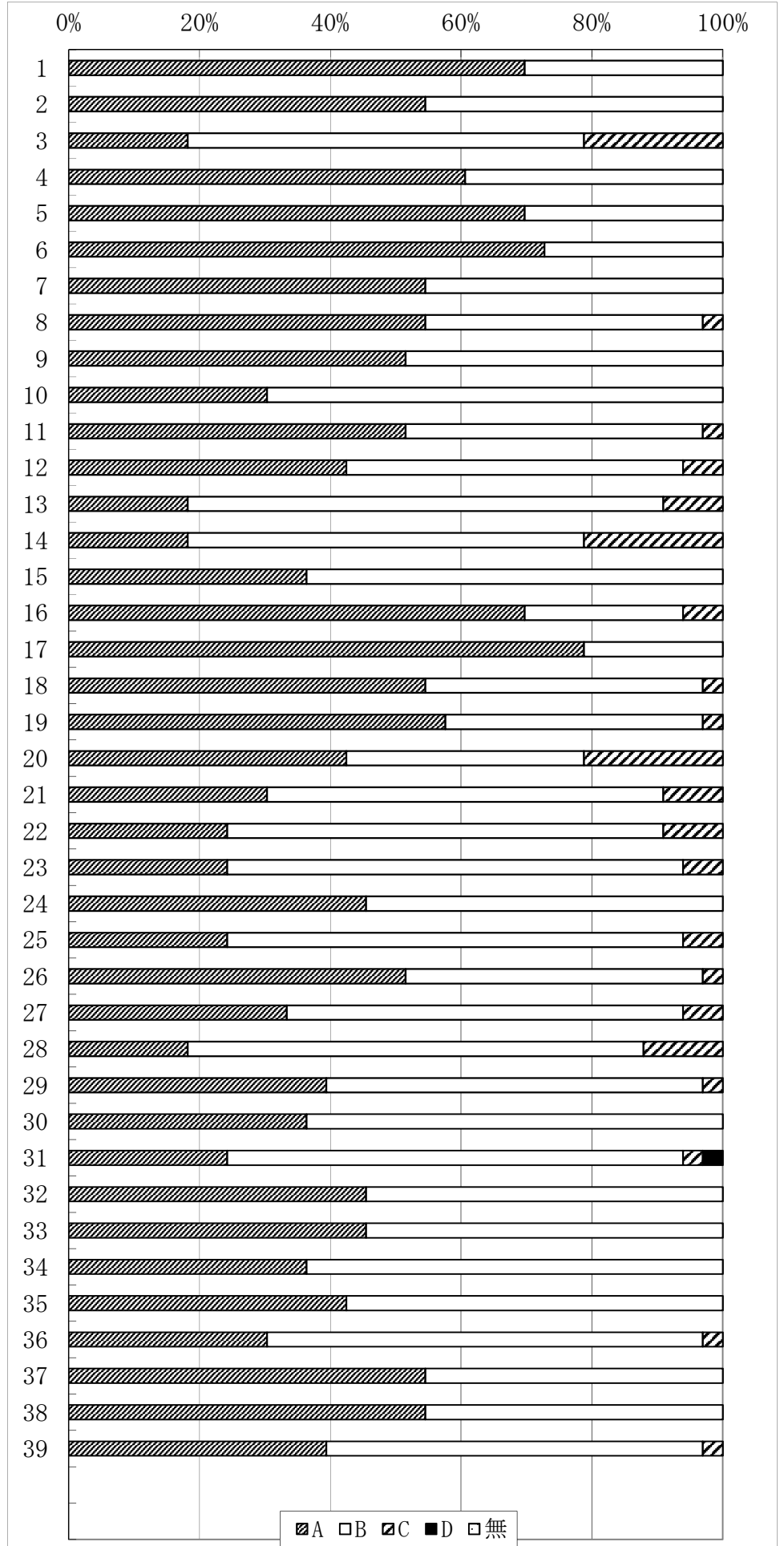
*学校関係者評価委員会からの評価 (本年度の重点目標を2学期初めに報告し、3学期終わりに自己評価の結果を渡し、評価をしていただいた。)	
目標1	・部活動は生徒数が減少しているため、以前と比べると活気がなく、子ども達の意欲も低下していると思われる。各部が工夫して少しでも楽しく頑張って存続していけるよう努力する必要がある。
	・修学旅行、スキー実習の宿泊日数が多いのは思い出作りに適していると思う。
	・学年に適した事を実施して下さり、「学ぶこと」と「楽しさ」の両方に重点がおかれていると思う。
	・部活動は熱心に指導されており、部員の少ないところでも継続できるよう努力していただいていることが有り難い。
	・いじめに対する取り組みや仏教教育も熱心に行われている。
	・生徒数が減っていく中で、いろいろな活動が困難になっていくのは仕方のないことであるが、今しかない少しでも多くの思い出を作ることができるようご指導願いたい。
	・トラブルが起こった時の素早い対処、また、メンタル面などたくさんのご支援について深く感謝する。
目標2	・学習の補習を学校が積極的に行って下っているので安心できる。さらに、家庭学習についての取り組みをご指導願えたら有り難い。
	・時間割、補習、講習などが充実している。
	・生徒のことを考慮して学習支援する体制が整っている。
	・学習面において、苦手科目など個別に指導していただけたことで先生方への信頼が深まり、恵まれた環境で学習できていると実感している。
目標3	・進路説明会については満足している。
	・先生方は生徒に根気よく、いろいろな方向からアドバイスをしている。
	・進路説明は、全体的にも個人的にも適切に行われている。
	・進路決定に向けて、たくさんアドバイスをいただき、苦手教科についても細やかなご指導をいただいている。
目標4	・遅刻、欠席の評価が低いのでご指導願いたい。
	・生徒数減少にともない、清掃活動も行き届かない部分もあるかと思うが、少しでも明るくきれいな学校を維持できるように保護者も微力ながら協力したいと思う。
	・先生方は生徒たちに気持ち良く挨拶をしている。
	・他校に比べ、廊下や階段などがきれいだと思う。
	・学校内は清潔に保たれている。
	・遅刻、欠席、挨拶など基本的なことだが、生徒が理解できるようになぜ大切なのかということもふまえてご指導願いたい。
	・生徒数が減少したからか、教員と生徒の間が近くなり、しっかり健康観察などもしていただいている。
・遅刻・欠席については適切に指導されている。	
目標5	・マナー、身なりの評価が良くなっているのは、普通の学校の指導のおかげだと考える。
	・自転車のマナーを守り、交通ルールの遵守を向上させるべく、保護者も注意を払っていきたい。
	・公共のルールやマナーは守られている。
	・公共の場では、ひとりのマナー違反のために皆がそうだと思われぬように、四天王寺羽曳丘高校の生徒であるという意識を常に持つようご指導願いたい。
	・頭髮については、おしゃれに興味のある年頃だが、せめて学校内では決まりを守るよう、月一回の指導のみならず、常にご指導願いたい。
	・自転車通学のマナーが悪い。
学校運営	・ホームページにおける学年別の行事後の更新をいつも楽しみにしている。
	・学校のホームページが充実している。
	・情報など適切に開示されている。
	・学年メールは、行事予定などがわかりとても助かっている。
	・学校と保護者と生徒との間を近くする取り組みが少しずつ始まり、形となってあらわれてくると良いと思う。

3. 本年度の取り組み内容及び自己評価				
中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取り組み計画・内容	評価指標	自己評価
1・夢・希望を叶える進路指導	<p>昨年度、「公開授業や研究授業など指導の内容・方法の工夫改善に向けた取り組みを、学校全体で行う。」であったが、取組としては、成果があったが、更なる向上を目指し、本年度も引き続き、</p> <p>(1)「公開授業や研究授業など指導の内容・方法の工夫改善に向けた取り組みを、学校全体で行う。」を残し、それに(2)「学習不十分な生徒について学校全体で支援する体制を整える」と「学習習慣の確立と家庭学習時間の確保に向けた取り組みを行う。」を付け加えた。</p>	<p>(1) ア. 1、2学期に授業参観週間を設け、2時間以上の授業を参観し学校評価委員会にレポートを提出する。 イ. 各教科研究授業を行い、参加者全員で、事後反省会を行う。 ウ. 各教科週に最低1時間は教科会を持ち、各クラスの動向や、学力養成のための研究、各入試問題の研究に力を入れる。</p> <p>(2) ア. 各コース小テスト(復習・課題について)を原則週1回は実施する。 イ. 各コース国・数・英を中心に計画的かつ継続的に課題を与え、提出を徹底させる。 *日々の宿題、課題を出すことで家庭学習を確保し、小テスト、課題で学習不十分な生徒に対しては、放課後の居残り学習を行わせる。</p>	<p>(1) (2)ともに ・自己評価のパーセント。 (肯定評価90パーセント以上) ・自己評価のポイント(100点方式)。 (80点以上) ・授業成果診断アンケートのポイント。 (各教科のポイントの平均点が昨年度の点数を上回る)</p>	<p>(1) ア、イ、ウについては各教科しっかりと取り組めた。ア、イに該当する設問11の自己評価の肯定評価は、中高ともに97%だった。また、ポイントも高校86.4ポイント、中学85.6ポイントと目標を上回った。ウに該当する設問12の自己評価の肯定評価は、中高ともに93.9%だった。また、ポイントも高校82.6ポイント、中学81.1ポイントと目標を上回った。そして、授業成果アンケートでも、今年度はほぼ全教科で昨年度のポイントを上回った。(○)</p> <p>(2) ア、イの実施率は、小テスト、課題の順に、国 100%・86.4%、社 67%・100%、数 20%・80%、理 25%・100%、英 100%・100%であった。各教科の特性もあるが、多少ばらつきがあった。アに該当する設問13の自己評価の肯定評価は、高校90.9%、中学93.9%となった。また、ポイントは高校75ポイント、中学81.8ポイントと高校のポイントだけが目標を下回ったが昨年度よりも向上した。イに該当する設問14の自己評価の肯定評価は、高校78.8%、中学93.9%となった。また、ポイントも高校68.9ポイント、中学79.5ポイントであった。高校では%、ポイントともに目標を下回り、改善が必要とされる。(△)</p>
2・基本的生活習慣の確立	<p>昨年度、「遅刻・欠席を少なくさせる。」であったが、取組として成果があったので、本年度は、昨年度の高校の自己評価のポイントが80点以下であった「挨拶を励行させる。」とした。</p>	<p>ア. 登下校時、風紀委員による服装、挨拶の啓蒙活動。 イ. 教員からの率先した挨拶。 ウ. 各クラブでの挨拶の徹底。</p>	<p>・自己評価のパーセント。 (肯定評価90パーセント以上) ・自己評価のポイント。 (80点以上) ・卒業生アンケートのポイント。 (昨年度の点数を上回る)</p>	<p>アに関しては、各学年の風紀委員が月に4回、朝8:10～8:30の間、風紀目標を掲示しながら、挨拶の啓蒙活動をした。 イに関しては、教員からの率先した挨拶の実施率は97%であった。 ウに関しては、各クラブの挨拶の徹底率は67%であった。 「挨拶を励行させる。」に該当する設問21の自己評価の肯定評価は、中高ともに90.9%となった。また、ポイントは高校78ポイント、中学82.6ポイントと高校のポイントだけが目標を下回ったが、昨年度よりも向上した。卒業生アンケートで該当する箇所のポイントは、高校で今年度85ポイント、昨年度は78ポイント、中学で今年度85ポイント、昨年度は91ポイントであった。高校では向上、中学では低下した。数字だけ見れば、やや向上したようだが、まだまだ元気よく挨拶をする生徒は少ない。(○)</p>
3・ルールの順守と規範意識の高揚	<p>昨年度、「服装、頭髪を規定どおり守らせる。」であったが、満足のいく成果は得られなかったので、本年度も「服装、頭髪を規定どおり守らせる。」とした。</p>	<p>ア. 生徒登下校時、校門で当番やその他の教員が立ち、服装、頭髪をチェックする。 イ. 毎月の一斉服装、頭髪検査での指導の強化。 ウ. 生徒会からの教室掲示プリント等による啓蒙活動。 エ. 各教員の生徒への注意の徹底。</p>	<p>・自己評価のパーセント。 (肯定評価70%以上) ・自己評価のポイント。 (60点以上) ・卒業生アンケートのポイント。 (昨年度の点数を上回る)</p>	<p>ア、エに関して、チェック率、徹底率ともに91%であった。イに関しての各学年の強化率は中3、高1、3で100%、高2で50%だった。ウに関して、生徒会は毎月生徒への啓蒙プリントを掲示した。 「服装、頭髪を規定どおり守らせる。」に該当する設問28の自己評価の肯定評価は、高校が87.9%、中学で97%であった。ポイントは、高校で73.5ポイント、中学87.1ポイントだった。昨年度よりもかなり向上した。卒業生アンケートで該当する箇所のポイントは、高校で今年度87ポイント、昨年度は77ポイント、中学で今年度90ポイント、昨年度は88ポイントであった。中高ともに向上した。まだまだ、満足のいく数値ではないが、これからも向上させていきたい。(○)</p>

平成27年度 自己評価アンケート 【高校】 集計結果

資料①

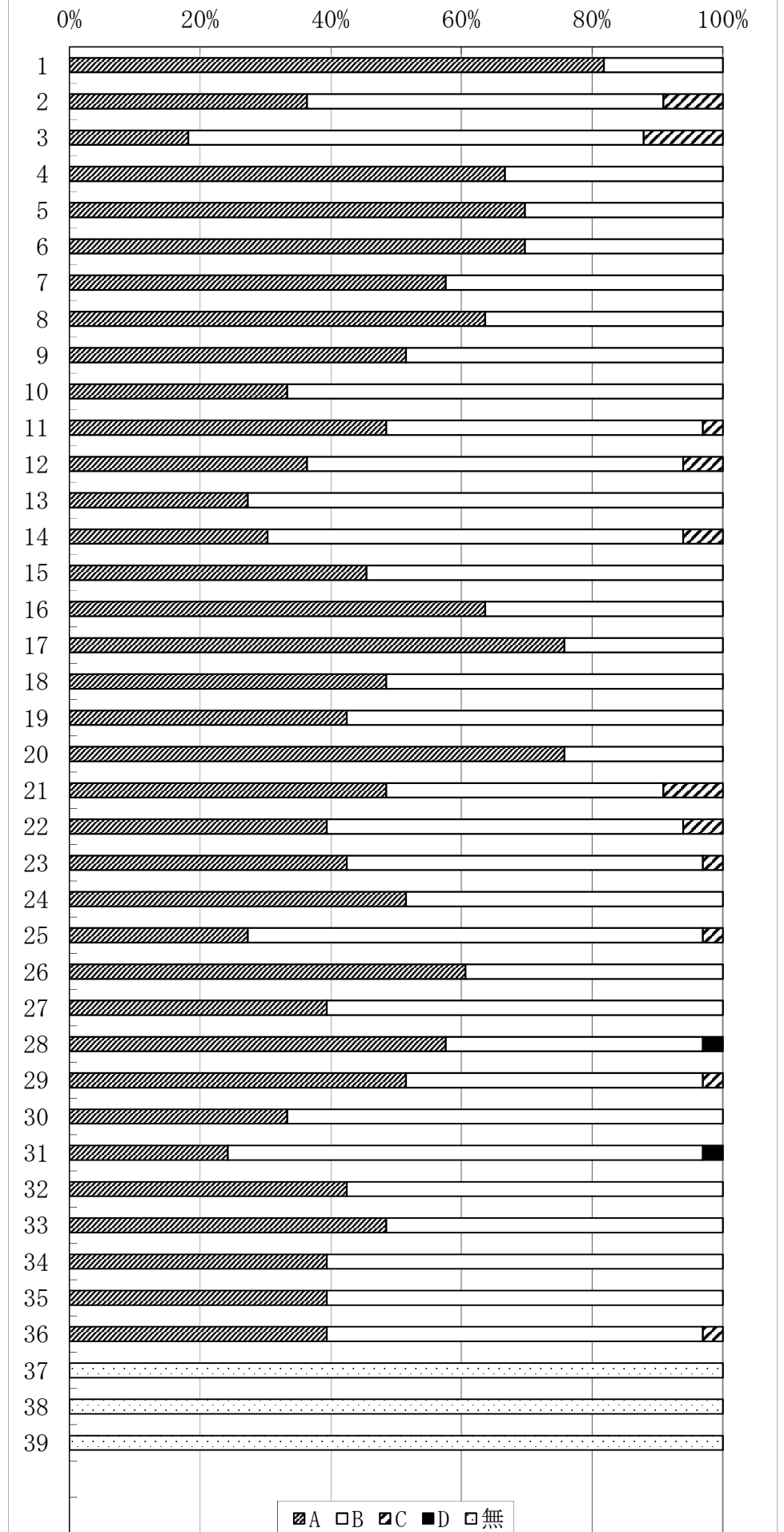
設問	A	B	C	D	無
1	23	10	0	0	
2	18	15	0	0	
3	6	20	7	0	
4	20	13	0	0	
5	23	10	0	0	
6	24	9	0	0	
7	18	15	0	0	
8	18	14	1	0	
9	17	16	0	0	
10	10	23	0	0	
11	17	15	1	0	
12	14	17	2	0	
13	6	24	3	0	
14	6	20	7	0	
15	12	21	0	0	
16	23	8	2	0	
17	26	7	0	0	
18	18	14	1	0	
19	19	13	1	0	
20	14	12	7	0	
21	10	20	3	0	
22	8	22	3	0	
23	8	23	2	0	
24	15	18	0	0	
25	8	23	2	0	
26	17	15	1	0	
27	11	20	2	0	
28	6	23	4	0	
29	13	19	1	0	
30	12	21	0	0	
31	8	23	1	1	
32	15	18	0	0	
33	15	18	0	0	
34	12	21	0	0	
35	14	19	0	0	
36	10	22	1	0	
37	18	15	0	0	
38	18	15	0	0	
39	13	19	1	0	



平成27年度 自己評価アンケート 【中学】 集計結果

資料②

設問	A	B	C	D	無
1	27	6	0	0	
2	12	18	3	0	
3	6	23	4	0	
4	22	11	0	0	
5	23	10	0	0	
6	23	10	0	0	
7	19	14	0	0	
8	21	12	0	0	
9	17	16	0	0	
10	11	22	0	0	
11	16	16	1	0	
12	12	19	2	0	
13	9	24	0	0	
14	10	21	2	0	
15	15	18	0	0	
16	21	12	0	0	
17	25	8	0	0	
18	16	17	0	0	
19	14	19	0	0	
20	25	8	0	0	
21	16	14	3	0	
22	13	18	2	0	
23	14	18	1	0	
24	17	16	0	0	
25	9	23	1	0	
26	20	13	0	0	
27	13	20	0	0	
28	19	13	0	1	
29	17	15	1	0	
30	11	22	0	0	
31	8	24	0	1	
32	14	19	0	0	
33	16	17	0	0	
34	13	20	0	0	
35	13	20	0	0	
36	13	19	1	0	
37					33
38					33
39					33



平成27年度 自己評価アンケート A+B

資料③

表の値は

A + B (%表示)

になります。(肯定評価AとBの割合をたしたもの)

高校

設問	H27年度	H26	H25	H24	H23
1	100.0	100.0	97.7	97.7	95.8
2	100.0	94.7	95.3	79.1	85.4
3	78.8	78.9	81.4	83.7	83.3
4	100.0	100.0	100.0	95.3	97.9
5	100.0	100.0			
6	100.0	97.4	97.7	93.0	97.9
7	100.0	100.0	97.7	93.0	95.8
8	97.0	100.0	95.3	95.3	93.8
9	100.0	100.0	97.7	97.7	97.9
10	100.0	94.7	93.0	97.7	93.8
11	97.0	100.0	97.7	93.0	93.8
12	93.9	86.8	88.4	88.4	81.3
13	90.9	84.2	83.7	79.1	77.1
14	78.8	92.1	88.4	74.4	85.4
15	100.0	100.0	93.0	93.0	93.8
16	93.9	100.0	95.3	95.3	97.9
※1			100.0	95.3	100.0
17	100.0	100.0	100.0	95.3	100.0
18	97.0	94.7	95.3	90.7	97.9
19	97.0	97.4	93.0	90.7	87.5
20	78.8	84.2	90.7	72.1	91.7
21	90.9	89.5	90.7	76.7	85.4
22	90.9	92.1	90.7	88.4	97.9
23	93.9	97.4	93.0	88.4	93.8
24	100.0	100.0	100.0	97.7	93.8
25	93.9	100.0	100.0	90.7	93.8
26	97.0	94.7	93.0	83.7	97.9
27	93.9	81.6	86.0	81.4	85.4
28	87.9	68.4	67.4	41.9	58.3
29	97.0	94.7	93.0	90.7	93.8
30	100.0	100.0	100.0	97.7	100.0
31	93.9	92.1	93.0	90.7	93.8
32	100.0	100.0	95.3	97.7	95.8
※2			90.7	86.0	83.3
33	100.0	100.0	95.3	100.0	95.8
34	100.0	97.4	100.0	95.3	97.9
35	100.0	100.0	97.7	97.7	95.8
36	97.0	97.4	90.7	93.0	93.8
37	100.0	100.0	100.0	100.0	97.9
38	100.0	100.0	97.7	100.0	100.0
39	97.0	100.0	93.0	88.4	89.6

平均	95.8	95.1	93.7	89.7	92.3
----	------	------	------	------	------

中学

設問	H27年度	H26	H25	H24	H23
1	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
2	90.9	92.1	95.3	79.1	85.4
3	87.9	78.9	81.4	79.1	79.2
4	100.0	100.0	100.0	95.3	97.9
5	100.0	100.0			
6	100.0	94.7	97.7	93.0	100.0
7	100.0	100.0	100.0	90.7	97.9
8	100.0	100.0	95.3	90.7	89.6
9	100.0	100.0	97.7	97.7	97.9
10	100.0	97.4	95.3	97.7	97.9
11	97.0	100.0	97.7	95.3	93.8
12	93.9	89.5	88.4	93.0	83.3
13	100.0	94.7	90.7	88.4	85.4
14	93.9	94.7	90.7	83.7	91.7
15	100.0	100.0	97.7	97.7	95.8
16	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
※1			100.0	97.7	100.0
17	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
18	100.0	97.4	100.0	93.0	97.9
19	100.0	100.0	97.7	100.0	97.9
20	100.0	97.4	100.0	97.7	100.0
21	90.9	92.1	90.7	90.7	89.6
22	93.9	94.7	90.7	90.7	97.9
23	97.0	100.0	97.7	97.7	97.9
24	100.0	100.0	100.0	97.7	97.9
25	97.0	100.0	100.0	93.0	93.8
26	100.0	97.4	100.0	95.3	100.0
27	100.0	81.6	95.3	86.0	89.6
28	97.0	89.5	95.3	93.0	93.8
29	97.0	94.7	93.0	97.7	97.9
30	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
31	97.0	97.4	97.7	93.0	95.8
32	100.0	100.0	95.3	100.0	95.8
※2			93.0	88.4	83.3
33	100.0	100.0	95.3	100.0	97.9
34	100.0	97.4	100.0	97.7	97.9
35	100.0	100.0	97.7	100.0	95.8
36	97.0	97.4	90.7	95.3	93.8
※3			100.0	100.0	97.9
※4			97.7	100.0	100.0
※5			95.3	93.0	89.6

平均	98.1	96.6	96.3	94.5	94.9
----	------	------	------	------	------

設問内容は別紙を参照してください。※1～※5 は今年度実施していない設問になります。

100点方式による推移表

資料④

表の値は

$$\{(2A+B-C-2D)+200\}/4$$

になります。(100点方式に変換しています。)

(評価の割合を100点で表した。Aが100%なら100点、Bが50%でCが50%なら50点、Dが100%なら0点になる。)

高校

設問	H27年度	H26	H25	H24	H23
1	92.4	93.4	88.4	87.8	87.5
2	88.6	82.2	74.4	66.3	71.9
3	68.9	68.4	68.6	70.9	73.4
4	90.2	90.8	89.5	84.3	86.5
5	92.4	92.1	-	-	-
6	93.2	89.5	89.5	82.6	88.0
7	88.6	88.2	82.6	82.6	84.4
8	87.1	87.5	82.0	82.6	80.7
9	87.9	88.8	87.8	87.2	88.5
10	82.6	81.6	82.6	83.1	81.3
11	86.4	86.2	84.3	81.4	83.9
12	82.6	77.0	76.2	76.2	69.8
13	75.0	69.1	67.4	66.9	64.6
14	68.9	73.7	70.9	64.5	70.8
15	84.1	84.9	79.1	80.2	78.6
16	89.4	89.5	84.3	84.3	87.0
※1		-	86.0	82.0	82.3
17	94.7	92.1	91.3	87.2	90.6
18	87.1	84.2	84.9	79.1	85.4
19	87.9	86.2	81.4	80.8	81.3
20	75.0	75.0	78.5	66.9	79.2
21	78.0	77.0	77.3	68.6	72.9
22	76.5	79.6	75.6	77.3	77.6
23	78.0	78.9	74.4	74.4	75.5
24	86.4	84.9	83.7	81.4	81.8
25	78.0	80.9	80.2	75.0	78.1
26	86.4	83.6	76.7	75.0	82.8
27	80.3	69.1	69.8	69.8	70.8
28	73.5	59.2	58.7	43.6	54.2
29	83.3	82.2	80.2	80.8	79.7
30	84.1	84.9	84.3	82.6	84.9
31	77.3	78.3	78.5	76.7	77.1
32	86.4	86.8	80.8	83.1	79.7
※2		-	72.7	68.6	66.7
33	86.4	84.9	81.4	86.0	83.3
34	84.1	85.5	86.6	85.5	83.3
35	85.6	85.5	81.4	82.6	79.7
36	81.1	82.2	75.6	78.5	78.6
37	88.6	87.5	87.8	89.0	87.5
38	88.6	86.2	84.3	86.6	85.9
39	83.3	81.6	76.7	75.6	75.0

中学

設問	H27年度	H26	H25	H24	H23
1	95.5	92.1	91.9	90.7	93.2
2	79.5	78.3	73.8	65.1	70.3
3	73.5	68.4	68.0	68.6	70.8
4	91.7	89.5	90.1	84.3	85.9
5	92.4	91.4	-	-	-
6	92.4	87.5	90.7	83.7	90.1
7	89.4	88.8	85.5	82.6	86.5
8	90.9	87.5	82.6	79.7	78.6
9	87.9	88.8	87.8	86.6	88.0
10	83.3	83.6	83.7	83.1	83.9
11	85.6	86.8	84.3	82.6	83.9
12	81.1	78.3	75.6	78.5	70.8
13	81.8	75.7	72.7	72.1	69.8
14	79.5	77.6	72.1	69.8	75.0
15	86.4	82.9	82.0	82.6	79.7
16	90.9	88.2	84.9	87.2	87.0
※1		-	83.7	82.6	82.3
17	93.9	89.5	90.7	90.7	89.6
18	87.1	84.9	85.5	79.7	85.4
19	85.6	86.8	82.6	85.5	88.0
20	93.9	90.8	90.1	87.8	92.2
21	82.6	83.6	80.8	79.1	83.9
22	81.8	83.6	77.9	79.1	80.7
23	84.1	84.9	79.1	79.7	79.7
24	87.9	86.2	84.3	83.7	84.9
25	80.3	82.9	80.8	77.3	78.6
26	90.2	87.5	86.0	83.1	88.5
27	84.8	72.4	75.0	75.0	75.5
28	87.1	80.3	84.3	79.1	80.2
29	86.4	82.9	80.8	84.9	84.4
30	83.3	85.5	84.3	84.3	84.4
31	78.8	81.6	82.0	78.5	80.7
32	85.6	87.5	81.4	84.9	80.2
※2		-	73.8	70.9	67.7
33	87.1	86.2	82.0	87.2	86.5
34	84.8	86.8	86.0	87.2	83.3
35	84.8	85.5	82.0	84.3	79.2
36	83.3	81.6	75.6	80.2	78.6
※3		-	87.8	89.0	88.0
※4		-	84.3	87.2	86.5
※5		-	77.9	77.9	75.0

平均	83.8	82.5	79.9	77.9	79.3
----	------	------	------	------	------

平均	86.0	84.3	82.1	81.4	81.9
----	------	------	------	------	------

設問内容は別紙を参照してください。※1～※5 は今年度実施していない設問になります。

平成27年度 自己評価アンケート A+B

資料⑤

表の値は

過去の年度 - H27年度

になります。(過去の年度の肯定評価の割合が平成

27年度よりも上か下かを表す。マイナスのついている値は平成27年度の方が上であることを示す。)

高校

設問	H27年度	H26	H25	H24	H23
1	100.0	0.0	-2.3	-2.3	-4.2
2	100.0	-5.3	-4.7	-20.9	-14.6
3	78.8	0.2	2.6	4.9	4.5
4	100.0	0.0	0.0	-4.7	-2.1
5	100.0	0.0	-	-	-
6	100.0	-2.6	-2.3	-7.0	-2.1
7	100.0	0.0	-2.3	-7.0	-4.2
8	97.0	3.0	-1.6	-1.6	-3.2
9	100.0	0.0	-2.3	-2.3	-2.1
10	100.0	-5.3	-7.0	-2.3	-6.3
11	97.0	3.0	0.7	-3.9	-3.2
12	93.9	-7.1	-5.6	-5.6	-12.7
13	90.9	-6.7	-7.2	-11.8	-13.8
14	78.8	13.3	9.6	-4.4	6.6
15	100.0	0.0	-7.0	-7.0	-6.3
16	93.9	6.1	1.4	1.4	4.0
※1					
17	100.0	0.0	0.0	-4.7	0.0
18	97.0	-2.2	-1.6	-6.3	0.9
19	97.0	0.4	-3.9	-6.3	-9.5
20	78.8	5.4	11.9	-6.7	12.9
21	90.9	-1.4	-0.2	-14.2	-5.5
22	90.9	1.2	-0.2	-2.5	7.0
23	93.9	3.4	-0.9	-5.6	-0.2
24	100.0	0.0	0.0	-2.3	-6.3
25	93.9	6.1	6.1	-3.2	-0.2
26	97.0	-2.2	-3.9	-13.2	0.9
27	93.9	-12.4	-7.9	-12.5	-8.5
28	87.9	-19.5	-20.4	-46.0	-29.5
29	97.0	-2.2	-3.9	-6.3	-3.2
30	100.0	0.0	0.0	-2.3	0.0
31	93.9	-1.8	-0.9	-3.2	-0.2
32	100.0	0.0	-4.7	-2.3	-4.2
※2					
33	100.0	0.0	-4.7	0.0	-4.2
34	100.0	-2.6	0.0	-4.7	-2.1
35	100.0	0.0	-2.3	-2.3	-4.2
36	97.0	0.4	-6.3	-3.9	-3.2
37	100.0	0.0	0.0	0.0	-2.1
38	100.0	0.0	-2.3	0.0	0.0
39	97.0	3.0	-3.9	-8.6	-7.4

中学

設問	H27年度	H26	H25	H24	H23
1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2	90.9	1.2	4.4	-11.8	-5.5
3	87.9	-8.9	-6.5	-8.8	-8.7
4	100.0	0.0	0.0	-4.7	-2.1
5	100.0	0.0	-	-	-
6	100.0	-5.3	-2.3	-7.0	0.0
7	100.0	0.0	0.0	-9.3	-2.1
8	100.0	0.0	-4.7	-9.3	-10.4
9	100.0	0.0	-2.3	-2.3	-2.1
10	100.0	-2.6	-4.7	-2.3	-2.1
11	97.0	3.0	0.7	-1.6	-3.2
12	93.9	-4.5	-5.6	-0.9	-10.6
13	100.0	-5.3	-9.3	-11.6	-14.6
14	93.9	0.8	-3.2	-10.2	-2.3
15	100.0	0.0	-2.3	-2.3	-4.2
16	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
※1					
17	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
18	100.0	-2.6	0.0	-7.0	-2.1
19	100.0	0.0	-2.3	0.0	-2.1
20	100.0	-2.6	0.0	-2.3	0.0
21	90.9	1.2	-0.2	-0.2	-1.3
22	93.9	0.8	-3.2	-3.2	4.0
23	97.0	3.0	0.7	0.7	0.9
24	100.0	0.0	0.0	-2.3	-2.1
25	97.0	3.0	3.0	-3.9	-3.2
26	100.0	-2.6	0.0	-4.7	0.0
27	100.0	-18.4	-4.7	-14.0	-10.4
28	97.0	-7.5	-1.6	-3.9	-3.2
29	97.0	-2.2	-3.9	0.7	0.9
30	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
31	97.0	0.4	0.7	-3.9	-1.1
32	100.0	0.0	-4.7	0.0	-4.2
※2					
33	100.0	0.0	-4.7	0.0	-2.1
34	100.0	-2.6	0.0	-2.3	-2.1
35	100.0	0.0	-2.3	0.0	-4.2
36	97.0	0.4	-6.3	-1.6	-3.2
※3					
※4					
※5					

平均	95.8	-0.7	-2.1	-6.1	-3.4
----	------	------	------	------	------

平均	98.1	-1.4	-1.9	-3.7	-2.9
----	------	------	------	------	------

設問内容は別紙を参照してください。※1～※5 は今年度実施していない設問になります。

100点方式（ $\{(2A+B-C-2D)+200\}/4$ ）による推移表

資料⑥

表の値は

過去の年度 - H27年度

になります。（過去の年度の100点方式が平成27

年度よりも上か下かを表す。マイナスのついている値は平成27年度の方が上であることを示す。）

高校

設問	H27年度	H26	H25	H24	H23
1	92.4	1.0	-4.1	-4.6	-4.9
2	88.6	-6.4	-14.2	-22.4	-16.8
3	68.9	-0.5	-0.3	2.0	4.5
4	90.2	0.6	-0.6	-5.8	-3.7
5	92.4	-0.3	-	-	-
6	93.2	-3.7	-3.6	-10.6	-5.2
7	88.6	-0.5	-6.1	-6.1	-4.3
8	87.1	0.4	-5.1	-4.6	-6.4
9	87.9	0.9	-0.1	-0.7	0.7
10	82.6	-1.0	0.0	0.6	-1.3
11	86.4	-0.2	-2.1	-5.0	-2.5
12	82.6	-5.6	-6.4	-6.4	-12.8
13	75.0	-5.9	-7.6	-8.1	-10.4
14	68.9	4.7	2.0	-4.4	1.9
15	84.1	0.8	-5.0	-3.9	-5.4
16	89.4	0.1	-5.1	-5.1	-2.4
※1					
17	94.7	-2.6	-3.4	-7.5	-4.1
18	87.1	-2.9	-2.2	-8.1	-1.7
19	87.9	-1.7	-6.5	-7.1	-6.6
20	75.0	0.0	3.5	-8.1	4.2
21	78.0	-1.1	-0.7	-9.4	-5.1
22	76.5	3.1	-0.9	0.8	1.1
23	78.0	0.9	-3.6	-3.6	-2.5
24	86.4	-1.5	-2.6	-5.0	-4.6
25	78.0	2.9	2.2	-3.0	0.1
26	86.4	-2.8	-9.6	-11.4	-3.6
27	80.3	-11.2	-10.5	-10.5	-9.5
28	73.5	-14.3	-14.8	-29.9	-19.3
29	83.3	-1.1	-3.1	-2.5	-3.6
30	84.1	0.8	0.2	-1.5	0.8
31	77.3	1.0	1.2	-0.5	-0.2
32	86.4	0.5	-5.5	-3.2	-6.7
※2					
33	86.4	-1.5	-5.0	-0.3	-3.0
34	84.1	1.4	2.5	1.4	-0.8
35	85.6	-0.1	-4.2	-3.0	-5.9
36	81.1	1.2	-5.5	-2.6	-2.4
37	88.6	-1.1	-0.8	0.3	-1.1
38	88.6	-2.5	-4.3	-2.0	-2.7
39	83.3	-1.8	-6.6	-7.8	-8.3

平均	83.8	-1.3	-3.7	-5.5	-4.1
----	------	------	------	------	------

中学

設問	H27年度	H26	H25	H24	H23
1	95.5	-3.3	-3.6	-4.8	-2.2
2	79.5	-1.3	-5.7	-14.4	-9.2
3	73.5	-5.1	-5.5	-4.9	-2.7
4	91.7	-2.2	-1.6	-7.4	-5.7
5	92.4	-1.0	-	-	-
6	92.4	-4.9	-1.7	-8.7	-2.3
7	89.4	-0.6	-3.9	-6.8	-2.9
8	90.9	-3.4	-8.4	-11.3	-12.3
9	87.9	0.9	-0.1	-1.3	0.1
10	83.3	0.2	0.4	-0.2	0.5
11	85.6	1.2	-1.3	-3.0	-1.8
12	81.1	-2.8	-5.5	-2.6	-10.2
13	81.8	-6.2	-9.1	-9.7	-12.0
14	79.5	-1.9	-7.5	-9.8	-4.5
15	86.4	-3.5	-4.4	-3.8	-6.7
16	90.9	-2.8	-6.0	-3.7	-3.9
※1					
17	93.9	-4.5	-3.2	-3.2	-4.4
18	87.1	-2.3	-1.7	-7.5	-1.7
19	85.6	1.2	-3.0	-0.1	2.4
20	93.9	-3.1	-3.8	-6.1	-1.8
21	82.6	1.0	-1.8	-3.5	1.3
22	81.8	1.7	-3.9	-2.7	-1.1
23	84.1	0.8	-5.0	-4.4	-4.4
24	87.9	-1.7	-3.6	-4.2	-3.0
25	80.3	2.6	0.5	-3.0	-1.7
26	90.2	-2.7	-4.1	-7.0	-1.6
27	84.8	-12.5	-9.8	-9.8	-9.3
28	87.1	-6.9	-2.8	-8.1	-6.9
29	86.4	-3.5	-5.5	-1.5	-2.0
30	83.3	2.2	1.0	1.0	1.0
31	78.8	2.8	3.2	-0.3	1.9
32	85.6	1.9	-4.2	-0.7	-5.4
※2					
33	87.1	-0.9	-5.1	0.1	-0.7
34	84.8	2.0	1.2	2.4	-1.5
35	84.8	0.7	-2.9	-0.5	-5.7
36	83.3	-1.8	-7.8	-3.1	-4.7
※3					
※4					
※5					

平均	86.0	-1.6	-3.6	-4.4	-3.6
----	------	------	------	------	------

設問内容は別紙を参照してください。※1～※5 は今年度実施していない設問になります。

評価項目	番号	設問	高等学校				中学			
			A+B	100点方式	A+B H27の差	100点 H27の差	A+B	100点方式	A+B H27の差	100点 H27の差
重点目標1	1	校外活動(修学旅行・校外学習・スキー実習等)が適切に計画・実施されている	100.0	92.4	0.0	1.0	100.0	95.5	0.0	-3.3
	2	生徒会活動が活発に行われている	100.0	88.6	-5.3	-6.4	90.9	79.5	1.2	-1.3
	3	部活動が活発に行われている	78.8	68.9	0.2	-0.5	87.9	73.5	-8.9	-5.1
	4	人権教育が適切に計画・実施されている	100.0	90.2	0.0	0.6	100.0	91.7	0.0	-2.2
	5	いじめに対する基本方針に沿い、その取り組みが適切に実施されている	100.0	92.4	0.0	-0.3	100.0	92.4	0.0	-1.0
	6	仏教教育・仏教行事が適切に計画・実施されている	100.0	93.2	-2.6	-3.7	100.0	92.4	-5.3	-4.9
重点目標2	7	教育課程は学習指導要領に沿い、かつ生徒や学校の実態等を踏まえたものになっている	100.0	88.6	0.0	-0.5	100.0	89.4	0.0	-0.6
	8	効果的で円滑な学習活動を進めるために適切な時間割を編成している	97.0	87.1	3.0	0.4	100.0	90.9	0.0	-3.4
	9	年間を通じた教育計画を各教科別に立てている	100.0	87.9	0.0	0.9	100.0	87.9	0.0	0.9
	10	学習指導において、生徒の実態に合わせた指導方法の工夫改善を行っている	100.0	82.6	-5.3	-1.0	100.0	83.3	-2.6	0.2
	11	公開授業や研究授業など指導の内容・方法の工夫改善に向けた取り組みが、学校全体で行われている	97.0	86.4	3.0	-0.2	97.0	85.6	3.0	1.2
	12	教科内で、授業内容の改善・向上に向けた話し合いを積極的に行っている	93.9	82.6	-7.1	-5.6	93.9	81.1	-4.5	-2.8
	13	学習不十分な生徒について学校全体で支援する体制が整っている	90.9	75.0	-6.7	-5.9	100.0	81.8	-5.3	-6.2
	14	学習習慣の確立と家庭学習時間の確保に向けた取り組みを行っている	78.8	68.9	13.3	4.7	93.9	79.5	0.8	-1.9
15	クラス編成や講習など進路実現に向けた学力向上策が充実している	100.0	84.1	0.0	0.8	100.0	86.4	0.0	-3.5	
重点目標3	16	生徒の進路決定に向けてアドバイスを適切に行うなど、生徒の適性や希望を生かすように行われている	93.9	89.4	6.1	0.1	100.0	90.9	0.0	-2.8
	17	進路説明会は、適切に計画・実施されている	100.0	94.7	0.0	-2.6	100.0	93.9	0.0	-4.5
	18	学力補充や学力伸展のための補習が適切に計画・実施されている	97.0	87.1	-2.2	-2.9	100.0	87.1	-2.6	-2.3
	19	実力考査・外部模試等を進路指導に適切に活用している	97.0	87.9	0.4	-1.7	100.0	85.6	0.0	1.2
重点目標4	20	遅刻・欠席を少なくさせている	78.8	75.0	5.4	0.0	100.0	93.9	-2.6	-3.1
	21	挨拶を励行させている	90.9	78.0	-1.4	-1.1	90.9	82.6	1.2	1.0
	22	環境美化に対する意識の向上を図っている	90.9	76.5	1.2	3.1	93.9	81.8	0.8	1.7
	23	清掃活動の参加意欲の向上を図っている	93.9	78.0	3.4	0.9	97.0	84.1	3.0	0.8
	24	保健室を適切に活用させている	100.0	86.4	0.0	-1.5	100.0	87.9	0.0	-1.7
25	年間を通して生徒自らに健康観察や健康の保持増進できる能力を養わせている	93.9	78.0	6.1	2.9	97.0	80.3	3.0	2.6	
重点目標5	26	校内外の指導等、問題行動を未然に防ぐ教育を適切に行っている	97.0	86.4	-2.2	-2.8	100.0	90.2	-2.6	-2.7
	27	公共のルールマナーを順守させている	93.9	80.3	-12.4	-11.2	100.0	84.8	-18.4	-12.5
	28	服装、頭髪を規定どおり守らせている	87.9	73.5	-19.5	-14.3	97.0	87.1	-7.5	-6.9
	29	交通安全教育は適切に計画・実施されている	97.0	83.3	-2.2	-1.1	97.0	86.4	-2.2	-3.5
学校運営	30	職員会議をはじめ各種会議が有効かつ効率的に機能している	100.0	84.1	0.0	0.8	100.0	83.3	0.0	2.2
	31	教員間・教科間の相互理解がなされ、信頼関係に基づいて教育活動が行われている	93.9	77.3	-1.8	1.0	97.0	78.8	0.4	2.8
	32	教員間で授業内容を評価、意見交換などを行う機会がある	100.0	86.4	0.0	0.5	100.0	85.6	0.0	1.9
	33	学校ホームページで可能な範囲の情報公開をしている	100.0	86.4	0.0	-1.5	100.0	87.1	0.0	-0.9
	34	研修・研究に参加した成果を、他の教員に伝えて情報を共有する体制がある	100.0	84.1	-2.6	1.4	100.0	84.8	-2.6	2.0
	35	教員が計画的に校外研修を受ける体制が整っている	100.0	85.6	0.0	-0.1	100.0	84.8	0.0	0.7
	36	防災に対する意識の高揚を図っている	97.0	81.1	0.4	1.2	97.0	83.3	0.4	-1.8
	37	情報の発信(保護者対象入試説明会等)が適切に計画・実施されている	100.0	88.6	0.0	-1.1				
	38	情報の発信(ホームページ)が適切に計画・実施されている	100.0	88.6	0.0	-2.5				
	39	職員の生徒募集の意識高揚が図られている	97.0	83.3	3.0	-1.8				

表の見方

数字	表示は
A+B	で90%未満
100点方式	で80点未満
A+B H27の差	+5%以上
を表します。	
改善の余地がある項目になります。	
数字	表示は
A+B H27の差	-5%以下
100点 H27の差	-5点以下
を表します。	
前年度に比べ向上した項目になります。	